

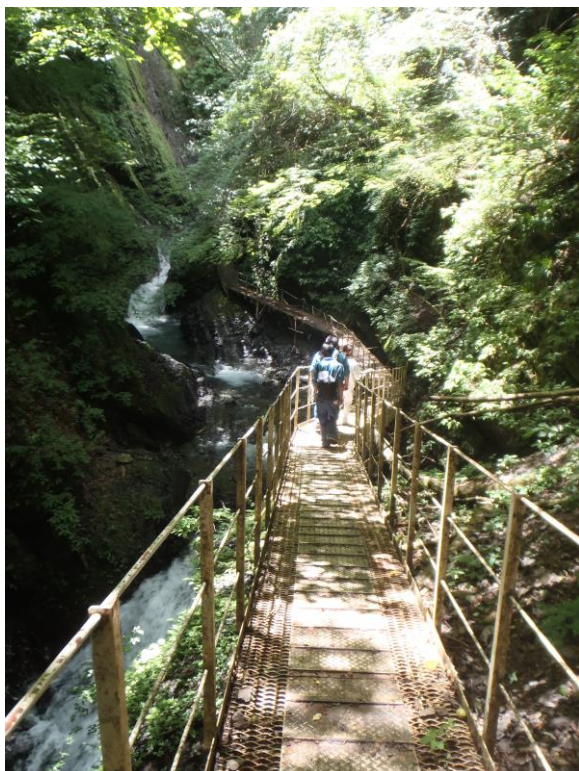
名 称	戸川溪谷景観保存地区
場 所	南巨摩郡富士川町小室、平林
所有区分	県有地、民有地
面 積	30.16ha
標 高	800～1,100m
指定年月	昭和 48 年 12 月 15 日

指定理由

戸川は、池の茶屋を源とする富士川の支流で、その上流金山鉱泉より妙蓮の滝上にいたる溪谷では、水量も豊富で瀑布群や早瀬を形成し、妙蓮の滝付近には高さ 10～20m の垂直に近い両壁がせまり、あたかも屏風を立てた観がある。

両岸には、カエデ、シデ、ヤシャブシ、ナラ、カツラの間にコメツガが点在しており、カエデ類が多いため秋の紅葉と溪谷美がすばらしい景観地域である。

また、妙蓮の滝付近には、好石灰岩植物として知られるクモノスシダ、ツルデンダなどの植物分類地理学的に興味ある植物もみられる。



撮影日：平成 24 年 7 月 26 日